



垂水区医療介護サポートセンター ごしまろくんの サポートセンター便り 第4号

発行：垂水区医療介護サポートセンター
住所：〒655-0038
神戸市垂水区星陵台4丁目4-37
垂水区医師会内
TEL：078-785-1166
FAX：078-785-1167

Withコロナの時代におけるサポートセンター事業



垂水区医師会 医療介護サポートセンター担当理事
百道敏久

医療介護サポートセンターの役割の一つは多職種連携の推進（多職種連携会議の開催、医療・介護関係者への研修）です。垂水区では、多職種が参画し、各種小委員会、在宅医療勉強会、市民フォーラム等多くの事業を展開してまいりました。これらは顔の見える関係を基に、多職種が連携した地域包括ケアの仕組み作りが目標でした。

令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症が瞬間に全世界に広まり、多人数が集まる会議や講演会が開催できなくなりました。

垂水区でも、小委員会、在宅医療勉強会、市民フォーラム等多くの事業が中止となりました。こうした中、ICTを利用したWeb会議が注目されるようになりました。今後もしばらくは多人数が集まる会議の開催は困難です。また、コロナ後も、多忙な多職種の方々が集まって会議を開くための日程調整は非常に困難な作業です。こういった場合にも、Web会議では多職種参加の会議が可能となります。

当サポートセンターでも、ビデオ・Web会議アプリケーションの一つ“Zoom”を利用してWeb会議を手掛けてまいりました。まだまだ不慣れなところが多々あります。また、初めて参加される方は、その設定の仕方や操作方法など戸惑うところが多々あると思います。そこで、当サポートセンターのコーディネーターのお二人が、皆様に分かりやすくマニュアルを作成いたしました。このマニュアルを参考に多くの方々が、当サポートセンターの事業に参加していただくことを願っております。

今しばらくは、Web上での顔の見える関係を構築し、地域包括ケアを進めてまいりたいと思います。多数の皆様の参加をお待ちしております。

令和2年11月12日

垂水区医師会 医療介護サポートセンター担当理事 百道敏久

サポートセンター相談内容より

Q:自立支援医療について

不安神経症で自立支援医療でOTが入っていた。今回上腕骨の骨折後退院予定。退院後自立支援医療でリハビリができるのか。



A:自立支援医療は、身体的な部分は使用できない。自立支援医療の訪問看護の指示書は、精神科医でないと書けない。今回の訪問リハの目的では、指示書を書いてもらう所が違うので、骨折の主治医と精神科の主治医に確認する事をお勧めする。

Q:小規模多機能ショート中の訪問看護

要介護2で、小規模多機能型居宅介護事業所でロングショート利用中。特別指示書をもらえば、ショート中に訪問看護ができるのか。



A:下記の条件を満たせば、医療保険での訪問看護ができる。①厚生労働省が定める疾病と、②特別訪問看護指示書を交付された利用者で、③30日以内に利用者宅で訪問看護を実施した場合。但し、宿泊サービス利用中の日中は訪問できない。

Q:薬の配達

3ヶ月分の処方を受けている。受診帰りに薬局に寄るが、在庫がなく後日タクシーで取りに行っている。宅配が出来る薬局はないか。



A:宅配は基本していない。事前に処方内容を相談すれば受診予定日に合わせて在庫確保は可能。また、不足数があれば不足分を届けることも可能である。医師の指示があれば、訪問薬剤指導で、訪問する事もできる。

研修報告

オンラインにより、初めて研修会を開きました。

第31回 オンラインによる垂水在宅医療勉強会(感染対策)の報告

【テーマ】: 感染管理認定看護師による「多職種による施設・在宅でのコロナ対策」

日時: 令和2年10月3日(土) 13:45~16:00

参加人数 71名

講師: 神戸掖済会病院 感染管理認定看護師 看護師長 田口菊久子氏

神戸徳洲会病院 感染管理認定看護師 看護師長 大坪道明氏

座長 神戸市ケアマネジャー連絡会 理事 林 義記氏



参加者: 医療系49% 医師3名・薬剤師10名 看護師15名 セラピスト2名 歯科衛生士2名

介護系51% あんすこ職員5名 ケアマネジャー14名 介護職4名 管理者5名 その他6名

質疑応答内容:

Q1: コロナの感染対策で、これをすれば大丈夫というのがあれば教えてください。

A: 「マスクをして手を洗う」「マスクの表面を触らない」「汚れた手で目や鼻を触らない」

マスクの表面を触った場合は、アルコール手指衛生を行う。アルコールはワンプッシュ押し切った量が適量。 処置ごとにアルコール手指衛生。

Q2: COPDや酸素療養中の方等、マスクができない人に対する対応は?

A: 職員がマスクとアイシールドの両方で対応する。

Q3: 無症状感染者がいる可能性のある生活の場での感染予防は?

A: ① 持ち込まない → 職員はマスクをし、訪問の家に入る前には手指衛生

② もらわない → 利用者さんにはできる限りマスクをしてもらう。不可能な場合は、職員がアイシールド装着

③ 持ち出さない → 汚染される状況なら防護具をつける。使用後の防護具は次の人に使うと感染リスクになるため、袋に入れ持ち帰り、消毒等適切に処理をする。

Q4: 個人防護具の枯渇対策

A: 患者に症状があり、マスクを装着していない場合でなければ、ガウンや手袋を全て装着する必要はない。オムツ交換など処置により汚染される可能性のある場合はガウンをつける等、処置内容で必要な防護具をつける。

最低限は、利用者 と 職員の双方がマスクをする。店舗なら、透明のアクリル板で防護できているため、マスクだけで十分と思われる。

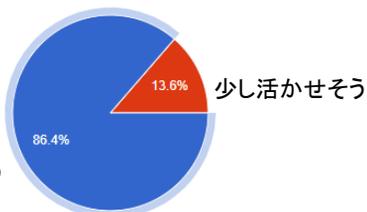
Q5: 地域から、感染管理認定看護師さんに連絡し、相談させてもらっても良いですか?

A: 地域連携室経由で、ご連絡下さい。施設に訪問する事も可能です!

手荒れのケアをしましょう!
手荒れのしわに微生物やウイルスが付着しやすいです。

アンケート結果: アンケート回収22名 回収率36%(参加者61名で換算)

研修内容は、今後の業務に活かそうですか?



感想・意見:

- ・Withコロナの中で自分がかからない、うつさない事に自分自身、より自覚、責任を持って従事したい。
- ・改めて、日常での感染予防策が大切と実感した。

今後の研修予定

第32回 垂水在宅医療勉強会

日時: 令和2年12月12日(土) 13:45~16:00

場所: ZOOMによるオンライン

内容: 「骨粗鬆症」

講師: 藤井内科クリニック 藤井芳夫先生

講師・座長: 名谷病院骨粗鬆症マネージャー 看護師

戒 みどり氏 ・前田美幸氏

第7回 ケアカフェ

日時: 令和2年1月9日(土) 13:45~16:00

場所: ZOOM ブレークアウトセッション

講師: 神戸徳洲会病院 感染管理認定看護師 大坪道明氏

神戸掖済会病院 感染管理認定看護師 田口菊久子氏

Zoom研修や会議の参加について

Zoomによる研修や会議があってもネット環境がない、カメラなどの機材がないなどで参加できないといった声をよく聞きます。

事業所内パソコンのいずれかがインターネットに繋がっていればネット環境は大丈夫です。スマホで参加予定の場合はWIFI環境をお勧めします。

一般的な講義形式の研修であれば、**カメラやマイクがなくても参加可能**です。会議となれば**マイクが必要ですが、カメラはなくても参加可能**です。

【研修・会議前日までの準備】

招待メールのURLをクリックして下さい。Zoomのソフトが入っていない場合はダウンロード下さい。

【メール例】

Zoomミーティングに参加する
https://zoom.us/j/XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

ミーティングID: 9XX XXXX XXXX
パスワード: XXXXXXXX

【研修・会議参加当日(パソコン用)】

1.研修招待メールのURLをクリック

【メール例】

Zoomミーティングに参加する
https://zoom.us/j/XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

ミーティングID: 9XX XXXX XXXX
パスワード: XXXXXXXX

2 「.Zoomミーティングを開く」をクリック

【画面1】

Zoom Meetingを開きますか？
Https://zoom.us/がこのアプリケーションを開く許可を求めています。

Zoom Meetingsを開く

キャンセル

3.氏名(所属名)を入力し、参加する

【画面2】

名前を入力してください

名前

将来のミーティングの為に記憶する

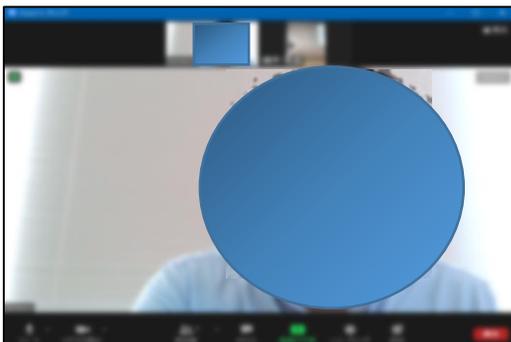
ミーティングに参加する

キャンセル

4.ビデオ付きで参加又はビデオなしで参加をクリック



5.「コンピューターでオーディオに参加」をクリック。Zoom画面となる下記の画面)



6.イヤホンを装着して視聴されることをお勧めします。



【研修・会議参加当日（スマホ・タブレット用）】

1. 研修招待メールのURLをクリック

【メール例】

Zoomミーティングに参加する
https://zoom.us/j/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

ミーティングID: 9XX XXXX XXXX
パスコード: XXXXXXXX

2. 氏名（所属名）を入力する

【画面1】

名前を入力してください

名前

キャンセル

OK

3. スマホにZoomアクセスの許可をする

iphone

android

【画面2】

Zoomがカメラへのアクセスを求めています

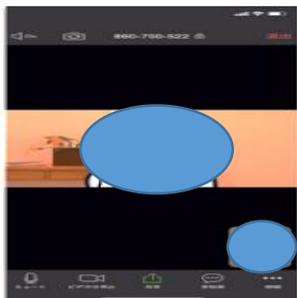
OK

【画面2】

Zoomへのアクセスを許可してください

了解

5. 準備完了です



4. スマホにカメラやマイク等の許可をする

iphone

android

【画面3】

ビデオ付きで参加

又は

ビデオなしで参加



インターネットを使用した通話

【画面3】

写真と動画の撮影をZoomに許可しますか？

許可しない

許可



【パソコン用 Zoom 操作画面】

この部分をクリックし、内臓カメラ又はWEBカメラを選択。



この部分をクリックすると、オーディオ設定があります。
「スピーカー・マイクをテスト」し音声の確認をしてください。

※パソコン・スマホともに、マイク・カメラのアイコンに赤い斜線があれば、ご自身機器のマイク・カメラはOFF状態です。ご自身のマイクやカメラをONにする際はアイコンを押せば赤い斜線が消え、相手と会話ができます。

編集後記:

オンラインツールを業務で活用すべく知識を学んでいます。ただ、昭和の古く硬い脳ですのでなかなか覚えるまでには時間がかかります。また、覚えてもすぐにソフトのアップデートがあり、ついて行くのがやっとなです。柔軟性に富み吸収力が高い若い頃の脳に戻りたいと思う日々であります。

